

※ 今週のアウトルック (2/9~2/13)

先週は、金曜日に発表された米国雇用統計が予想よりもかなり良好な数字となり、一気に2円近くも上昇してそのまま週末を迎えています。

前回の雇用統計では、平均時給のマイナスが嫌気されましたが、今回は平均時給も前月比、前年比ともプラスとなり、早期利上げ期待が高まった形となっています。

今週は、この上昇幅に上がりすぎ感があり、ある程度修正されて行くのか、それともこのまま上値を模索する形になるのか、ギリシャ問題の雲行きがさらに怪しくなっていることから、前者の可能性の方がいささか高いような気がします。

先週のドルは、前半は狭いレンジでのみみ合いとなりましたが、金曜日の雇用統計が良好な数字であった為、一気に119円台まで上昇して週末を迎えました。

今週は、雇用統計の良好な結果を踏まえ、さらに上昇する可能性もありますが、NYダウや、原油価格が下落した場合の影響や、ギリシャ問題の不透明度が増していることなどから、ある程度修正する可能性もあるように思います。

ドル円の予想レンジは118円から121円です。

先週のユーロドルは、米国雇用統計の良好な結果を受けてドル買いが進み、再び1.13付近まで戻して終了しています。

今週は、ギリシャとECBの交渉がうまくまとまらず、さらに雲行きが怪しくなっていますが、この影響がどこまで反映されるかで、今後の動きが左右されそうです。

1.13を割らずにある程度持ちこたえるか、再び1.11付近まで下がってしまうのか、ECBの要人発言、ギリシャの要人発言などにも大きく左右されそうです。

ユーロ円は円売り、ユーロ売りのため、133から134円を中心としたレンジ的な動きとなっています。ユーロドルが再び下降トレンドに入った場合には、この均衡が一気に崩れそうです。

ユーロ円の予想レンジは130円から136円です。

ポンド円は、いささか上昇トレンド再開の動きを見せていますが、今週も上昇トレンドを維持できれば、再び190円を目指す上昇トレンドを回復する可能性が、

高まってきたそうです。

ポンド円の予想レンジは177円から185円です。

今週は、米国雇用統計の良好な結果を受けて、上昇トレンドを維持できるかにまず注目が集まりそうです。

東京市場、欧州市場の寄り付きの動きに注意したいところです。

免責事項

当レポートを参考にトレードを行い、損失が生じた場合でも、責任は負いかねますのでご了承ください。